

技術・家庭科(家庭分野)シラバス

1【担当者】 植田君恵

2【技術・家庭科の目標】

生活に必要な基礎的な知識と技術の習得を通して、生活との関わりについて理解を深め、進んで生活を工夫し想像する能力と実践的な態度を育てる。

3【家庭分野の目標】

衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的な知識と技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深める。

これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

4【家庭分野の領域】

A 家族・家庭生活

B 食生活・衣生活・住生活

C 消費生活・環境

5【家庭分野の評価の観点の目標と評価の方法】

観点	観点の目標	評価の方法
知識・技能	家族・家庭の基本的な機能について理解し 生活の自立に必要な家族・家庭、食生活、衣生活 住生活、消費や環境などについての知識を理解 しているとともに、それらにかかる技能を身に つけている	定期テスト 実技テスト 製作物の取り組み 実習の取り組み等
思考・判断・表現	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域 における生活の中から問題を見いだして課題を 設定し、解決策を構想する またそれらを実践し、 評価、改善し、考察したことを論理的に表現する などして課題を解決する力を身につけている	ノート、レポート等の 提出物 授業中の発言等
主体的に学習に 取り組む態度	興味・関心・疑問を大切にして、課題に取り組み 家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現 にむけて、課題の解決に主体的に取り組んだり 振り返って改善し、生活を生活を工夫し、創造し、 実践しようとしている	授業中の発言、態度 ノート、レポート等の 提出物 実習の取り組み等

6【評定】

上記3観点の観点別学習状況の評価(A・B・C)を基にして、5段階で評定を表す。

技術・家庭科(家庭分野)からのお願い

学習したことを家庭で実践する機会があると生活の技術が向上します。
お手伝いは学習したことを家庭で実践する良い機会です。始めからうまくはできません
が、努力を褒めて、励まして下さい。生活の技能が向上し、自立を促します。

